

エールを送る！

IGLで 働くひと *Interview*

考える力を育み、未来の即戦力に

しのとう こうじ
教員 篠藤 航司さん

2013年 入職 IGL医療福祉専門学校日本語学科の学科長として勤務。



お仕事の内容を教えてください

日本語学科の学科長として外国人留学生に日本語を教えています。この学校の専任教員になって今年で9年目で、日本語を教えるだけでなく、学生への生活指導や進路指導もしています。

日頃から大切にしていることはありますか

自分自身も過去に留学していたときに、異国で違う言語を勉強する大変さは分かっているので、そんな中でもどうしたら学生にとって分かりやすい授業になるか、楽しい授業とはどのようなものかを常に考えて授業をしています。教師がただ教えるのではなく、学生自身に考えてもらい、クラスメイトと協同した上で、日本語が分かる・日本語ができる楽しさを味わってもらいたいと思います。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

外国人である学生と接する際に、彼らの価値観を大事にすることと、日本の価値観も理解してもらうことのバランスが大事だと思っています。日本人からしたらありえないことも、すぐ否定するのではなく、彼らの背景にある価値観や文化を受け止めた上で、日本で生活していくにはどうしたらいいのかを指導することを心がけています。これから多文化共生が必要になってくる日本ではお互いがお互いのことを理解しようとする姿勢が大事だと思っています。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

街中でも旅行者じゃない外国人を見かけることが多くなってきたと思います。外国人だからと距離を感じるのではなく、外国人だからこそ、積極的に関心を持ち、外国人のことに興味を持って知つてもらえた嬉しさです。



同僚からのエール！

学科内でさまざまな課題が発生した際には、いつも一緒に解決方法を探ってください。問題の本質を見極め適切なアドバイスをしてくださるので、とても頼もしいです。日本語学科の学生と教員を常に支えてくださる、学科にとってなくてはならない存在です。(同僚:日本語学科専任教員 細井戸忠延さん)



卒業生からのエール！

母国の将来を見据え、 日本で介護の力を磨く



介護福祉学科
2023年3月卒業
りゅう しょうほう
劉 小鳳さん
IGLナーシングホームシャレー
介護福祉士

母国の中でも高齢化が進み、社会の課題となっています。姉の友人が中国の老人ホームで仕事をしていたことから、介護の仕事が将来さらに必要になることを知り、日本で勉強して経験を積むことを考えました。IGLの日本語学科から介護福祉学科に進み、介護福祉士の資格を取得して2023年4月からナーシングホームシャレーで仕事をしています。実際に働いてみて、上司の方や周りのスタッフの方もとても優しく、この仕事に就いて良かったと実感しています。

11月に行われた第7回ひろしまケアコンテストに施設長の勧めで出場しました。各ユニットのリーダーの方々に毎日代わるがわる練習につきあっていたおかげで、奨励賞を受賞できてとても嬉しかったです。ご利用者さまから、優しいね、とか、あなたがいると安心すると言つていただけることが何よりの励みです。



専門学校事業 Topics 9月~12月

PICK UP ! 11月16日、IGL学園祭を開催しました!

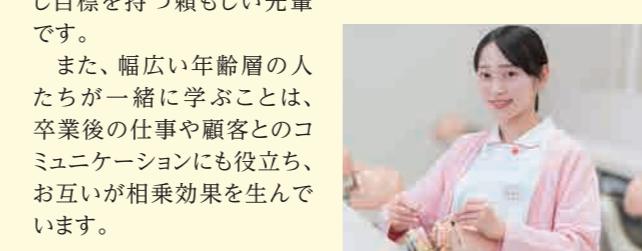
各学科のブースやゲーム、留学生による自国の紹介、ヘアメイクや革細工の体験、たくさんのキッチンカーなどで大変盛り上がりました。今年も飯室神楽団による演目披露もあり、学生はもちろん保護者や卒業生、地域の方々などたくさんの方にご来場いただきました。

ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。そして地域の皆さま、学園祭の開催にあたってのご協力に感謝申し上げます。



もっと知って、IGL !

心・知識・技術を備えた医療福祉のスペシャリストを育成する専門学校。
在校生が感じる“愛とつながり”的推しポイントをPick Up!



IGLの 国家資格者養成 2大特色

オープンキャンパスの詳細、進学情報はホームページから



オープンキャンパス情報



ホームページ

1. 実技・実習にしっかり取り組む

授業内で確かな技術を習得、加えて月曜日を自由に使えるフリーマンデー制度を活用し、自主参加型の勉強会・実技講習会で実力アップ!

2. 豊富な実習先と連携。

医療福祉4学科の就職率は毎年100%!
専門学校の情報はIGLYoutube CHANNELでご確認ください! ▶

